



# 介護施設入居者の権利<sup>1</sup>

<sup>1</sup>入居者の権利の詳細な一覧については42 CFR § 483を参照してください

介護施設の入居者には、連邦介護施設法により保証される権利があります。法律では、介護施設が「各入居者の権利を促進し保護」し、個人の尊厳と自己決定を重視するように要求しています。多くの州では、州の法律または規制に入居者の権利も含んでいます。

## 尊厳のある存在を認められる権利

- 各入居者の人格を認めながら、思いやり、尊敬、尊厳を持って取り扱うこと
- 虐待、無視、搾取、財産の着服がないこと
- 身体的または薬物による拘束がないこと
- 生活の質が維持されるまたは改善されること
- 干渉、強制、差別、報復を受けずに権利を行使すること
- 家庭的な環境を用意し、可能であれば私物を使用できること
- 質の高い介護が平等に受けられること
- 所有物の安全性

## 自己決定を認められる権利

- 主治医を含め、活動、スケジュール、医療、調達者の選択
- ニーズとプリファレンスの合理的配慮
- 個人的、および文化的嗜好を包含する人間中心の介護計画を開発し実施することへの参加
- 入居者の権利を行使する担当者を自由に指名する
- 入居者と家族グループを組織して参加する
- 治療を要求、拒絶、そして/または中断する

## 以下を十分に知らされる権利

- 提供される介護、および提案されている治療法の危険性と利点
- 介護の計画、医学的または健康情報の変更
- 入居者の権利の書面によるコピーを含む、規則と規制
- 長期にわたる介護オンブズマンプログラムと州の調査代理人の連絡先
- 州の調査レポートと州の介護施設の補正計画
- 部屋またはルームメートを変える前の書面による通知
- 言語または入居者が理解する言語または方法で出される通知と情報（Spanish、Brailleなど）

## 苦情を訴える権利

- 差別または報復、またはその恐れなしに苦情を訴える
- 施設が苦情を解決する努力を推進し、要求があれば決定書を提供する
- 長期にわたる介護オンブズマンプログラムと州の調査代理人により申し立てを提出する

## 以下にアクセスする権利

- 施設内部と外部の個人、サービス、コミュニティのメンバー、活動
- いつでも自分たちが入居者を選び、その人と質を拒絶する権利
- 個人および医療に関する記録
- 州の調査代理人と長期にわたる介護オンブズマンプログラムによる自分のかかりつけ医師と担当者
- 感覚障害が存在する場合の支援
- 社会的、宗教的、コミュニティの活動に参加する

## 金融業務に関する権利

- 自分の金融業務を管理する
- 利用可能なサービスについての情報とそれぞれのサービスの料金
- 施設が利付口座に預け入れた\$100（その介護資金がメディケイドによって供給されている居住者の場合は\$50）以上の別個の自己資金、および要求に基づく四半期ごとの資産報告
- メディケイドまたはメディケアの適用を受けているサービスには請求されません

## プライバシーの権利

- 個人的問題、金融業務、医療業務関係
- 選んだ人とのプライベートおよび自由なコミュニケーション
- 個人的ニーズの治療および介護の間

## 退院/転院中の権利

- 転院または退院の提示を訴え、訴えが保留中は退院されない権利
- 理由、発効日、転院先、請求権および訴えを記入するプロセス、長期の介護オンブズマン向けの氏名と連絡先を含む、退院または転院の書面による30日間の通知を受け取ります
- 確実に安全で整然とした転院または退院できるための準備と順応
- 入院または治療中断後に施設に戻る権利の通知

## ヘルプを得る

入居者の権利についての詳細、または質問または懸念については、担当する長期介護オンブズマンプログラムにお問い合わせください。長期介護オンブズマンプログラムはライセンスを取得した長期介護施設の入居者の権利を促進し、保護します。詳細については、[www.theconsumervoice.org](http://www.theconsumervoice.org)にアクセスしてください。

